

平成30年度（30年度決算分）高松市事務事業評価表 【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標	安全で安心して暮らし続けられるまち	評価担当	局名	消防局
	政策	安全で安心して暮らせる社会環境の形成		課(室)名	消防局予防課
	施策	防災・減災対策の充実		電話番号	087-861-1504
	基本事業	市民及び地域の防災意識と防災力の向上		事業実施主体	市
	事務事業	自主防災組織等育成事業		事業期間	平成28年度～令和5年度

【事業全体概要】

事業の概要	大規模災害時等の被害を少しでも防ぐために「自分たちの地域は、自分たちで守る。」という自助・共助の意識の醸成と高揚を図るとともに、結成された自主防災組織の活動を推進するための防災訓練を支援する等の育成指導を行い、地域防災力の向上を図る。				
3年度概要	防災訓練に係る非常食品の助成事業 自主防災組織機能強化事業 自主防災組織連絡協議会補助金 消防支援隊装備 消防支援隊・消防協力隊ボランティア保険				
重点取組事業	一般重点	市長マニフェスト	6-	事務事業の類型	ソフト事業（法律による実施義務有）

【事業の目的】

対象（何を）	コミュニティ、自主防災組織
意図（どのような状態にしたいか）	防災訓練等の実施を呼びかけ支援することにより、自主防災組織の活動を強化して、地域防災力の向上を図る。

【事業の活動】

活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）	単位	H28	H29	H30	H31	中期目標 R.2
非常食品助成率	%	89	89	89		100

【事業の成果】

成果指標	成果指標名（どのような成果が得られたか）	単位	種別	H28	H29	H30	H31	中期目標 R.2
	避難所運営訓練又は安否確認訓練実施率	%	目標値	60	70	80	85	90
			実績値	83	82	82		
	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか） 自主防災組織も避難所運営などの重要性を認識しており、従来型の訓練に部分的に取り入れており、前年と同じ実施値であり、目標を達成できた。 (目標達成度)						(達成度) 102.5%	35点
	成果指標名（どのような成果が得られたか）	単位	種別	H28	H29	H30	H31	中期目標 R.2
	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか） (目標達成度)							

【コストの推移】

指標名	単位	平成28年度（決算）	平成29年度（決算）	平成30年度（決算）	平成31年度（予算）
トータルコスト	[千円]	27,127	27,114	31,156	30,415
（事業費）	[千円]	4,202	4,960	9,075	8,334
（職員人件費）	[千円]	22,925	22,154	22,081	22,081

【評価】

評価ランク（A～D）	A	今後の方向性（拡充、継続、改善継続、縮小、廃止）	継続
------------	---	--------------------------	----

【昨年度の実施状況と課題】（評価ランクの結果に対する理由などを分析して記入）

防災訓練は、台風の影響で中止となる地域もあったが、前年度と同程度の実施件数であった。訓練で使用する非常食品の助成の効果もあり、ほとんどの地域で、防災訓練を実施しているが、実施していない地域に対しては、実施を推進する。

【今後の事業方針】（評価ランクの結果を受けて、上記課題に向けた今後の方針を具体的に記入）

自主防災組織の取り組み事例の紹介や講演会を実施するなどして、自主防災組織の活動の温度差を解消し、組織のレベルアップを図る。また、小学校と連携による避難所運営訓練の実施や新たな訓練企画を提案して、より実効性のある訓練の実施を推進する。

平成30年度（30年度決算分）高松市事務事業評価表 【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標	安全で安心して暮らし続けられるまち	評価担当	局名	総務局
	政策	安全で安心して暮らせる社会環境の形成		課(室)名	危機管理課
	施策	防災・減災対策の充実		電話番号	087-839-2184
	基本事業	市民及び地域の防災意識と防災力の向上		事業実施主体	市
	事務事業	地域防災対策事業		事業期間	平成20年度～令和5年度

【事業全体概要】

事業の概要	高松市地域防災計画に基づき、震災対策活動の習熟及び防災関係機関との連携強化、市民の防災意識の高揚等を図るため、大地震を想定した震災対策総合訓練を実施する。開催場所については、消防署の管轄区域ごとに、北署・東署・南署・西署の順番に持ちまわり決定する。		
3年度概要	市民防災講演会 震災対策総合訓練 防災士ネットワーク会員研修会 防災士資格取得助成制度		
重点取組事業	市長マニフェスト	事務事業の類型	ソフト事業（法律による実施義務無）


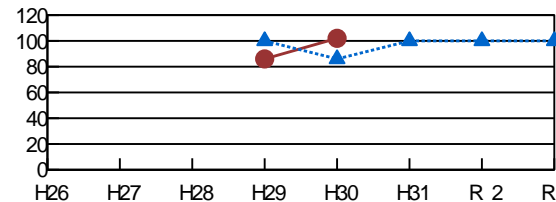
【事業の目的】

対象（何を）	高松市民
意図（どのような状態にしたいか）	本市地域防災計画に基づき、大地震を想定した震災対策総合訓練を実施し、震災対策活動の習熟及び防災関係機関との連携強化、市民の防災意識の高揚等を図る。地域防災力の向上を図るため、防災士の資格取得助成や研修会等を実施し、各地域において防災リーダーを養成する。

【事業の活動】

活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）	単位	H28	H29	H30	H31	中期目標 R2
震災対策総合訓練実施回数	回	1	1	1	1	1
高松市民防災講演会開催回数	回		1	1		1

【事業の成果】

成果指標	成果指標名（どのような成果が得られたか）	単位	種別	H28	H29	H30	H31	中期目標 R2
成果指標	高松市民防災講演会参加人数	人	目標値		100	86	100	100
			実績値		86	102		
	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか） 高松市民防災講演会は各地域コミュニティ協議会からの代表者に対して行い、各コミュニティ協議会から3名以上の参加があり、目標人数に達し、一定の成果はあった。 							
成果指標	成果指標名（どのような成果が得られたか）	単位	種別	H28	H29	H30	H31	中期目標 R2
			目標値					
			実績値					
成果指標	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）							

【コストの推移】

指標名	単位	平成28年度（決算）	平成29年度（決算）	平成30年度（決算）	平成31年度（予算）
トータルコスト	[円]	17,085	9,682	9,658	10,642
（事業費）	[円]	598	578	584	1,568
（職員人件費）	[円]	16,487	9,104	9,074	9,074

【評価】

評価ランク（A～D）	A	今後の方向性（拡充、継続、改善継続、縮小、廃止）	継続
【昨年度の実施状況と課題】（評価ランクの結果に対する理由などを分析して記入）			
訓練内容について、定例的なものは滞り開催できたが、よりリアリティのある訓練となるよう地域とも協力し、地域の防災力向上に努める必要がある。 また、高松市民防災講演会は多くの市民の参加があり、今後もより多くの市民の参加を促し、防災意識を高め、合わせて、防災士のスキルアップを図ることで、地域の防災リーダーを養成していく。			
【今後の事業方針】（評価ランクの結果を受けて、上記課題に向けた今後の方針を具体的に記入）			
訓練内容について、定例的なものではなく、よりリアリティのある訓練となるよう地域とも協力し、地域の防災力向上に努める。 また、平成29年度から開催を始めた高松市民防災講演会により多くの市民の参加を促し、防災意識を高め、合わせて、防災士のスキルアップを図ることで、地域の防災リーダーを養成していく。			

平成3年度（30年度決算分）高松市事務事業評価表 【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標	安全で安心して暮らし続けられるまち	評価担当	局名	総務局
	政策	安全で安心して暮らせる社会環境の形成		課(室)名	危機管理課
	施策	防災・減災対策の充実		電話番号	087-839-2184
	基本事業	市民及び地域の防災意識と防災力の向上		事業実施主体	市
	事務事業	市民防災力向上推進事業		事業期間	平成30年度～令和5年度

【事業全体概要】

事業の概要	高松防災合同庁舎（危機管理）センター1階たかまつ防災プラザ等を拠点に、防災の情報を効果的に発信し、市民の防災意識の向上を図る。		
3年度概要	定期的な「ぼうさいまちカフェ」の開催やパネル展示による防災情報の発信		
重点取組事業	市長マニフェスト	事務事業の類型	ソフト事業（法律による実施義務無）

【事業の目的】

対象（何を）	高松市民
意図（どのような状態にしたいか）	高松市防災合同庁舎（危機管理センター）1階「たかまつ防災プラザ」等を拠点に、香川大学の協力のもと「ぼうさいまちカフェ」の定期的な開催、パネル展示や大型モニターによる動画放送により防災の情報を効果的に発信し市民の防災力の向上を図る。

【事業の活動】

活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）	単位	H28	H29	H30	H31	中期目標 R2
ぼうさいまちカフェ年間実施回数	回			9	12	12

【事業の成果】

成果指標	成果指標名（どのような成果が得られたか）	単位	種別	H28	H29	H30	H31	中期目標 R2
	ぼうさいまちカフェ年間参加人数	人	目標値			200	280	290
			実績値			222		
	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか） 毎月平均2.4名の参加があり、目標人数に達し、初年度としては一定の成果があげられた。 (目標達成度)							35点
	成果指標名（どのような成果が得られたか）	単位	種別	H28	H29	H30	H31	中期目標 R2
	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか） (目標達成度)							

【コストの推移】

指標名	単位	平成28年度（決算）	平成29年度（決算）	平成30年度（決算）	平成31年度（予算）
トータルコスト	[円]			1,265	368
（事業費）	[円]			1,114	141
（職員人件費）	[円]			151	227

【評価】

評価ランク（A～D）	A	今後の方向性（拡充、継続、改善継続、縮小、廃止）	継続
------------	---	--------------------------	----

【昨年度の実施状況と課題】（評価ランクの結果に対する理由などを分析して記入）

平成31年度からの事業であり、市民の防災意識を向上させるためには、今後も継続する必要がある。

【今後の事業方針】（評価ランクの結果を受けて、上記課題に向けた今後の方針を具体的に記入）

ぼうさいまちカフェは、南海トラフ地震などの大規模災害に対する備えや、水害時の避難の在り方など、市民の防災力を向上させるための情報発信ツールであり、今後も毎月開催する必要がある。